



研究テーマ

- 1 心に届く歌唱を導く、「声」と「ディクシオン」の研究
- 2 歌唱指導におけるメタファーの効果
- 3 初心者への効果的発声指導法



藤本 いく代

ふじもと いくよ
教育学部
音楽教育
声楽

教授

キーワード

声楽、歌唱、ディクシオン、
発声、メタファー、生涯
学習

特許情報・
共同研究・
応用分野など

【共同研究】

*宮崎大学・附属学校園共同研究
*文部科学省事業「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」
*宮崎県教育委員会・宮崎大学連携事業「芸術領域の授業づくり～芸術家の知を生かした芸術教育」
【これまでの社会貢献活動】

〈審査員〉
全日本学生音楽コンクール、鹿児島県合唱フェスティバル、熊本県合唱コンクール、全九州高等学校音楽コンクール、宮崎県高等学校独唱独奏コンクール 他

研究概要

*歌は、詩の持つ世界に作曲者の意図や思いなどの概念が絡まることで生まれます。その二重螺旋に加わることが、演奏者の大いなる喜びであり、存在意義でもあります。これまでに培った演奏技術と表現力で古今東西の音楽作品を甦らせ、リサイタルやコンサートを通して、その深淵なる世界と溢れる魅力を紹介しています。

*指導分野では、正しい発声を導く上で重要なツールとなる「指導者の言葉かけ」に着目し、比喩（特に暗喩）がもたらす効果と、それを含めた初心者への効果的な発声指導法について研究しています。

1 心に届く歌唱を導く、「声」と「ディクシオン」の研究

音楽曲のほとんどは「詩」を伴っており、それは様々な言語によりますが、楽曲が醸し出す情趣は、言語の持つ色合いによるところが大きいのです。そして、それを紡ぎ出すのが「声」。声の持つ表現力とディクシオン（発音法）を駆使した歌唱法で、楽曲のニュアンスや詩に包み込まれた機微をも表出させる、「人の心に届く歌唱」を研究しています。

2 歌唱指導におけるメタファーの効果

歌唱指導の手段に「比喩を用いる」ことがあります。

本研究では、比喩、特にメタファー（暗喩）が改善をもたらす場合と、そうでない場合について比較・分析することで、発声理論に即したメタファー表現を導き出し、その有効性を教育現場に提案したいと考えています。

3 初心者への効果的発声指導法

声楽の初修期には、呼吸と発声が連動しないことが原因で問題が生じることがあります。その改善策として、発声時の身体機能を想起させる発声訓練が効果を上げることが多いのです。様々な試案を、実践を通して検証することにより、誰もが応用できる方法を考案し、伝えていきたいと考えています。



(ソプラノリサイタルin熊本
2019.10.5 より)

ホームページ

音楽教育講座

<http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/music/>

技術相談に応じられる関連分野

*声の悩み *歌唱を用いた健康増進 *コンサート企画への演奏等の提供

メッセージ

*共同研究の希望テーマ：歌唱がもたらすストレスフリー＆健康増進
*発声指導や歌唱指導に悩みや不安をお持ちの学校や団体はご連絡ください。
*歌唱を通じた地域貢献、健康増進についてご相談をお受けします。